

北海道蘭越高等学校のグランドデザイン(令和7年度版)

スクールミッション（本校の社会的役割）

- 地域における体験的な学習活動等を通じて、望ましい勤労観、職業観を身に付け、地域創生に資する生徒の育成
- ICT等を活用した遠隔授業や個に応じた指導を通じて、自ら学習意欲や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- 魅力と特色ある学校づくりに努め、保護者や地域の期待に応える

学校教育目標

- 心身を鍛え常に向上しようとする人を育む
- 自ら学び自ら考えて行動のできる人を育む
- 豊かな心を持ち社会に貢献できる人を育む

スクールポリシー（教育活動の指針）

1. グラデュエーション・ポリシー（このような生徒を育てます）

- チャレンジ精神に富み、主体的に学び行動する生徒
- 自然や郷土を愛し、地域や社会の発展に寄与する生徒
- コミュニケーション能力に富み、他者との協調・協働を通して自己を高める生徒

生徒の実態

- 素朴・素直
- 学習習慣が身についていない生徒も少なくない

2. カリキュラム・ポリシー（このような教育活動を行います）

- 基礎的・基本的な知識や技能を重視し、発展的な学習を目指した授業を行う
- 地域と連携し、地域の産業や自然環境、国際理解を深める授業を行う
- 多様な興味・関心や進路希望に対応した教育課程の編成やコース制を設定する

【資質・能力(知)】

- よりよい地域・社会を実現するために協働的に取り組む力
- 自己実現に向け主体的に課題解決に取り組む力

【豊かな人間性(徳)】

- 他者を思いやる心と健全な人間関係を構築する力
- 地域の自然と伝統・文化を愛し、地域づくりに貢献する力

【健康・体育(体)】

- 生活習慣の確立と体力づくりに努め、自ら健康を管理できる力
- 安全な生活を送るため、様々な危険から身を守る力

何ができるようになるか(学校生活の基本)

- 学んだことや体験したことを様々な場面で活用できる
- 課題解決のために、多様な人々と協働しながら、粘り強く取り組むことができる
- 自己の感情や行動を統制できる

何が身についたか(学習評価を通じた学習指導の改善)

- 様々な課題に対し、学んだ知識・技能を生かし、解決策を考えようとしている
- 多様な人々とコミュニケーションを取ろうとしている
- OTPOに応じた適切な言葉遣いと態度で対応している

何を学ぶか(教育課程の編成)

- 社会生活や自己実現に役立つ、知識・技能を学ぶ
- 課題発見・解決に必要な情報分析や活用方法を学ぶ
- 多様な意見を尊重し視野を広げることや、自分の意見を持ち適切に伝える方法を学ぶ

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- 生徒の実態に則した、わかる授業、学び合う授業の実施
- 習熟度別学習やICTを活用した個別最適な学びを実施
- 地域と連携した体験活動、課題解決型学習を実施
- 連帯感・達成感・帰属意識を高める特別活動の実施

実施するためには何が必要か (指導体制の充実、環境整備、家庭・地域との連携)

- 観点別評価の充実による「指導と評価の一体化」
- 教職員の専門性を高める研修機会の充実
- コンソーシアムを中心とした、地域との連携、地域人材の活用

生徒をどのように支援するか (どのような配慮が必要か)

- 教育サポート委員会を中心とした支援体制
- 外部の専門機関との連携
- 居心地のよいホームルームづくりの推進

3. アドミッション・ポリシー（このような生徒の入学を待っています）

- 進路実現や資格取得など明確な目標を持ち、主体的に学習に取り組む生徒
- 他者と協力し認め合いながら、進んで自らを高める意欲のある生徒
- 規範意識と自立心を備え、活気ある学校生活を送ろうとする生徒

安心・安全を守る

- いじめ・体罰の根絶
- 危機管理(防災)の徹底と意識の醸成
- 教育相談の充実と配慮の必要な生徒への対応

開かれた学校づくり

- ホームページや広報誌を活用し、情報発信の頻度をあげる
- 授業公開や学校行事などで地域住民へ積極的な案内を行う
- 生徒のボランティア活動、地域行事への参加を推進する